

令和元年 10 月

「総合エネルギー統計検討会」の開催について

1. 開催の趣旨

総合エネルギー統計(エネルギーバランス表)は、我が国のエネルギー需給の実態を定量的に明らかにするものであり、昭和 28 年以来、エネルギー政策立案やエネルギー需給に関する情勢判断等に資するものとして、各種一次統計等を基に作成する加工統計です。国際エネルギー機関への我が国のエネルギー需給実績の報告や、国連気候変動枠組条約事務局へ報告するエネルギー起源 CO₂ 排出量の算定にも活用されています。

当該統計の改訂に際しては、当該統計を巡る状況変化を踏まえ、統計の一層の精度向上、透明性の確保などの観点から、平成 16 年以降、検討会を開催し、エネルギー工程等に知見を有する専門家による検討・評価を実施してきているところです。

平成 29 年度の検討会においては、主要な一次エネルギー統計の改訂や国連からの要請等を踏まえて見直したところでありますが、今回は当該統計全般に影響を与える①エネルギー源毎の標準発熱量や②前回の検討会以降改訂した事項、③総合エネルギー統計における検討課題と対応方針について、その改訂案の検討及び評価を実施することを目的として、検討会を開催します。

2. 運営方式

位置付け: 資源エネルギー庁長官主催の検討会

名 称: 令和元年度総合エネルギー統計検討会

事 務 局: 日本エネルギー経済研究所

検討会は非公開とさせていただきます。議事概要は経済産業省ホームページで公表致します。